

1. 評価結果概要表

作成日 平成19年 11月 30日

【評価実施概要】

事業所番号	0170501829		
法人名	有限会社プラクティス		
事業所名	グループホームせせらぎ		
所在地	札幌市豊平区中の島2条7丁目6番14号 (電話) 011-823-5775		
評価機関名	北海道社会福祉協議会		
所在地	札幌市中央区北2条西7丁目1番地		
訪問調査日	平成19年10月23日	評価確定日	平成19年11月30日

【情報提供票より】(19年9月20日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和(平成)15年1月6日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	12 人
職員数	14 人	常勤 12人, 非常勤 2人, 常勤換算	11.7人

(2) 建物概要

建物構造	木造		
	2 階建ての	1~2	階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	40,000 円	その他の経費(月額)	20,000~30,000 円
敷金	有(円) 無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(60,000円) 無	有りの場合 償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	月額	30,000 円	

(4) 利用者の概要(9月1日現在)

利用者人数	12 名	男性 2 名	女性 10 名
要介護1	1	要介護2	1
要介護3	5	要介護4	3
要介護5	2	要支援2	0
年齢	平均 82.3 歳	最低 75 歳	最高 91 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	もなみクリニック・札幌平岡病院・北海道社会保険病院
---------	---------------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

当事業所は近隣に公園があるなど自然豊かな環境に立地し、認知症高齢者の生活課題に対して高い志を持ち運営がなされている。アニマルセラピーとして犬と猫を飼っており、明るさ・朗らかさ・和みを追求した運営理念を基に全職員が一丸となって日々のケアサービスに努めている。医療機関との連携も取れ協力体制が整備されており、重度化や終末期の支援も図られている。

【重点項目への取組状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	前回評価での課題であった注意の必要な物品の保管方法や、緊急時の手当てについて即座に改善に取り組んでいる。
重点項目	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	管理者を含めた職員数で自己評価を行い、日々のケアサービスに積極的に活かしている。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)
	運営推進会議で事業所の運営状況等について報告し、意見交換を行っている。また、そこで出た意見や提案を具体的な取り組みに繋げて実践している。
重点項目	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)
	内部・外部の苦情相談機関を設け、利用者本人・家族からの意見や要望等について真摯に受け止め熱意をもって解決する体制が整えられている。また、苦情処理規定がわかりやすく書式化され、定期的に家族アンケートを実施するなど積極的な取り組みが行われている。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	町内会に加入し地域の行事に参加したり散歩や買い物の際に会話するなど、日常的に地域と繋がりをもちながら交流できるよう努めている。また、地域からの要望により認知症についての学習会を開催するなど、事業所の機能を還元し、地域との連携を深めている。

2. 評価結果（詳細）

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念の共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	地域住民と様々な場面で挨拶・会話・交流を行う姿勢を盛り込んだ、事業所独自の理念をつくりあげている。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	職員採用時や会議で理念を確認しながら話し合い、日常生活においての理念の実践に向けて取り組んでいる。		
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	町内会に加入し地域の行事に参加したり、認知症の学習会を開催するなど、地域との交流に努めている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	管理者を含む職員数名で自己評価を行い、日々のケアサービスで積極的に活かしている。しかし、全職員が自己評価・外部評価の意義を十分に理解するまでには至っていない。	○	今後、全職員に評価の重要性への周知徹底を図り、具体的な改善に取り組むことが期待される。

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>平成18年12月に運営推進会議が設置され、事業所の運営状況等についての報告を行っている。また、そこで出た意見や提案について具体的に取り組みサービスの質の向上に努めている。</p>		
6	9	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>運営者は事業所の状況や取り組み内容等を市の担当者に報告し、解決に向けて協議し連携を図っている。</p>		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>毎月発行している事業所便りに個別の通信欄を設け、利用者の暮らしぶりや健康状態等を家族に報告している。また、受診結果や利用者の身体状態に変化があった場合はそのつど連絡し、金銭管理については使途明細書にて詳しく報告している。</p>		
8	15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>苦情処理規定を設けており、家族からの意見・苦情等を適切に対応できるよう整えられている。また、定期的に家族アンケートを実施したり来訪時に家族に積極的な声かけをするなど取り組みを行い、運営に反映させている。</p>		
9	18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>運営者や管理者により職員が働きやすい環境が整えられており、職員の離職が少ない。また、職員の離職や異動があった場合は利用者への心理的ダメージを防ぐような方策が図られており、利用者や馴染みの職員による暮らしに影響が出ないような配慮がなされている。</p>		


外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	段階に応じた研修会や内部学習会に参加する機会が設けられており、職員は積極的に参加している。また、職員が有する経験等を共有し、質の向上に繋げる体制が整えられている。		
11	20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	グループホーム連絡協議会に加盟し、職員研修の受け入れや勉強会など同業者と交流する機会が設けられている。また、運営者は同業者とのネットワークの重要性を認識しており、協働しながら質の向上に取り組んでいる。		
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	事前に本人・家族に事業所を見学してもらったり職員が利用者宅を訪問するなど、徐々に馴染みの関係を築けるような工夫をしている。また、入居後も職員は利用者との会話を重視し、本人が安心して暮らせるよう配慮している。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	日常生活において職員は利用者から教えてもらうことが多く、互いに支え合う関係が構築されている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>職員は日常生活における気付きを大切に、利用者との会話や表情から意向の把握に努め、その人らしい暮らしとなるよう支援している。</p>		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>毎日のミーティングやカンファレンスにて話し合い、本人・家族・医療関係者の意見を取り入れながらの介護計画を作成している。</p>		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じた見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>定期的に介護計画の見直しを行っている。また、家族の要望や利用者の健康状態に変化があった場合はそのつど関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している。</p>		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>通院の際の送迎や医療連携体制を活かした重度化や終末期への対応など、家族の状況や要望に応じて対応している。また、墓参りなどの外出の付き添いなど、柔軟な支援を実践している。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	<p>かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>定期的な内科・歯科医の往診や看護師の訪問による健康チェックが行われるなど、医療機関と連携が密に取れている。また、受診後は記録シートを活用して情報を家族に伝えている。</p>		
19	47	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	<p>重度化や終末期の対応についての方針が整備されており、家族に説明後に同意書を交わしている。また、状況の変化に応じてそのつど話し合い、繰り返し方針を確認している。</p>		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>利用者の誇りやプライバシーに配慮した声かけや対応が行われている。また、守秘義務の徹底が図られており、個人情報の取り扱いにも法令遵守が貫かれている。</p>		
21	52	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>一人ひとりのペースを尊重した支援が行われている。また、利用者の会話や表情により把握し、一人ひとりの希望に沿って柔軟に対応している。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	職員は利用者の体調や状態に応じて食事の準備や後片付けなど、一人ひとりの力を活かせるよう努めている。また、家庭的な雰囲気の中で利用者と職員が共に食事を摂っている。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めず、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	時間帯やタイミングなど利用者の希望に合わせて週に3回の入浴支援を行っている。また、入浴を嫌がる利用者には無理強いをせず職員の声かけにより入浴できるよう対応している。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	利用者が有する力を発揮したり役割ごとの場面づくりに努めている。また、一人ひとりの希望に応じて楽しみごとや気晴らしができるよう対応している。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	散歩・買い物・ドライブなど、利用者の希望に沿った外出支援を行っている。また、歩行が困難な場合は車いすを使用し、できるだけ戸外に出かけられるよう支援している。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	防犯上の理由により夜間帯は施錠しているが、日中は職員の見守りや外出傾向のある利用者の把握により、鍵をかけずに利用者が安全に過ごせるような工夫をしている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
27	71	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	<p>防災マニュアルは整備されているが、避難訓練を実施するまでには至っていない。現在、実践的な避難訓練の実施を検討中である。</p>	○	<p>今後、消防署の協力を得ながら昼夜を想定した避難訓練を早急に実施することが期待される。</p>
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>食事・水分摂取量を毎日記録しており、職員は把握している。また、利用者の状態に応じて調理方法や量を工夫し、一人ひとりに応じた栄養バランスの確保に努めている。</p>		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>居間と台所は一体となって広々としており、利用者が生活しやすい造りになっている。また、共用空間は装飾品や音楽により利用者が居心地良く過ごせるよう配慮されている。</p>		
30	83	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>居室には利用者が使い慣れた馴染みの家具や生活用品・思い出の品が持ち込まれており、本人が安心して暮らせるような工夫がなされている。</p>		

 は、重点項目。